

稲沢市コミュニティバス利用者アンケート調査集計結果

(1) アンケート調査の概要

この調査は、平成 20 年 7 月 1 日（火）から試行運行を開始した稲沢市コミュニティバスの利便性向上に向けた調査研究に資することを目的として実施しました。

ア 調査期間

平成 20 年 7 月 1 日（火）から 7 月 31 日（木）まで（無料運行実施期間）

イ 調査対象

調査期間中にコミュニティバスを利用者された方

ウ 調査項目

コミュニティバスの利用目的について
コミュニティバスの利用時間について
コミュニティバスの運行により利便性が向上した施設について
コミュニティバスの今後の利用について
乗降車するバス停留所について

エ 調査方法

東西幹線及び南北幹線のコミュニティバス（ジャンボタクシー）の乗務員がアンケート用紙を配布し、乗務員の受け取り、または市役所、各支所、市民センター等の公共施設に設置したアンケート回収箱へ投函により用紙を回収。

市職員によるバス停留所（祖父江の森、アピタ稲沢店、ヨシツヤ新稲沢店、市民会館・中央図書館、トップモール、バロー平和店、ヨシツヤ平和店）での聞き取り調査。

オ 回答率

東西幹線...7.0%（利用者数 5,965 人 回答者数 416 人）

南北幹線...9.4%（利用者数 1,420 人 回答者数 133 人）

全 体...7.4%（利用者数 7,385 人 回答者数 549 人）

カ 調査結果の見方

割合（比率）の合計については、端数処理（小数点以下第 2 位を四捨五入）の関係により 100%にならない場合があります。

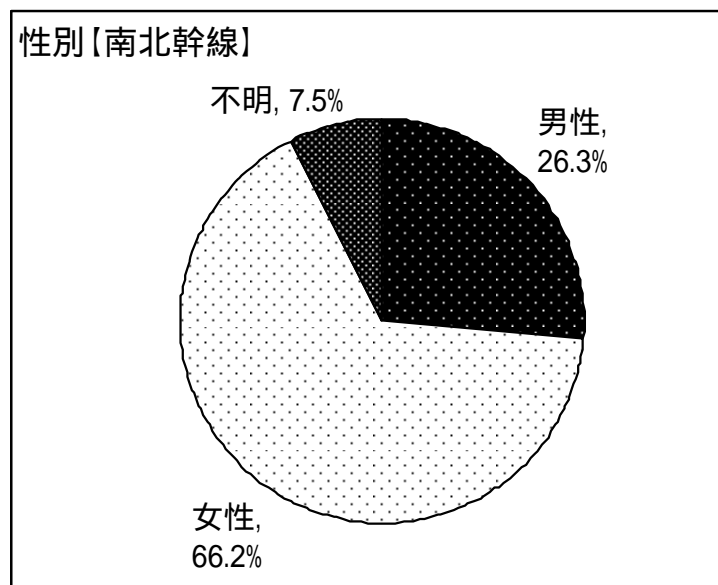
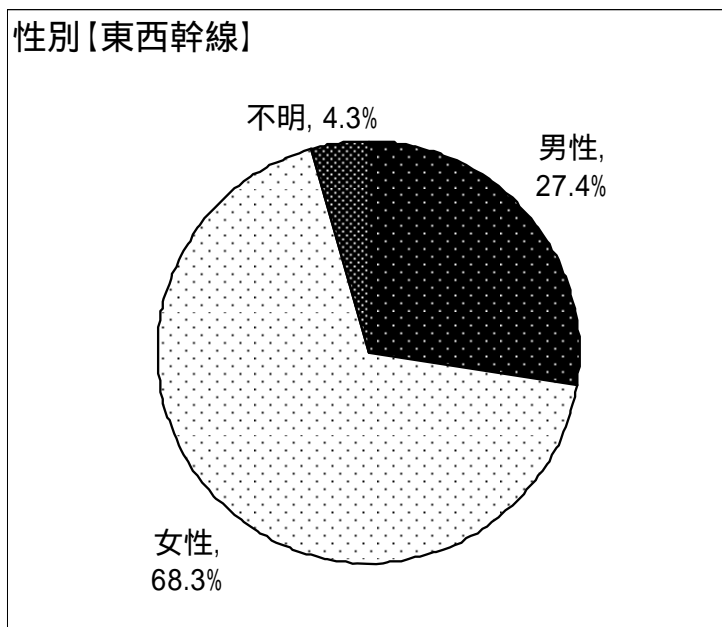
複数回答の質問の場合は、その選択肢の回答が、回答者全数からみて何%かを示していません。

(2) アンケート調査の結果

ア アンケート対象の属性

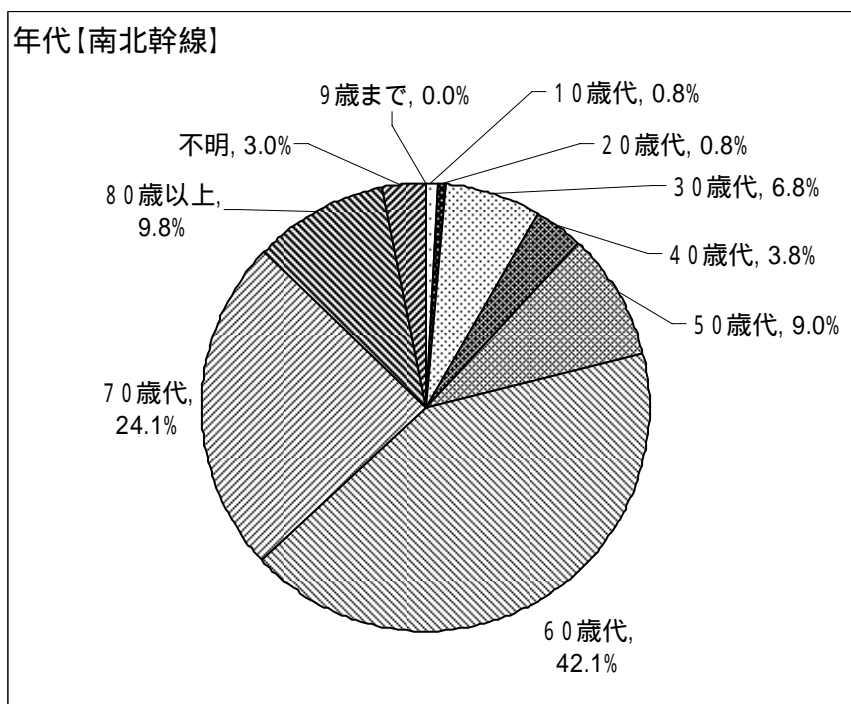
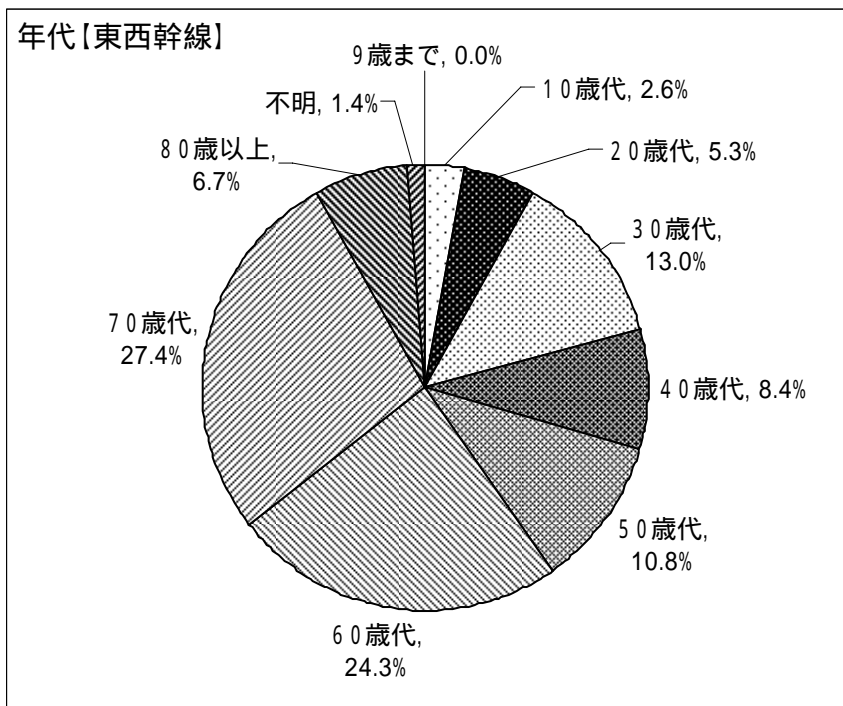
性別

東西幹線、南北幹線とも利用者は、女性の割合が高くなっています。



年代

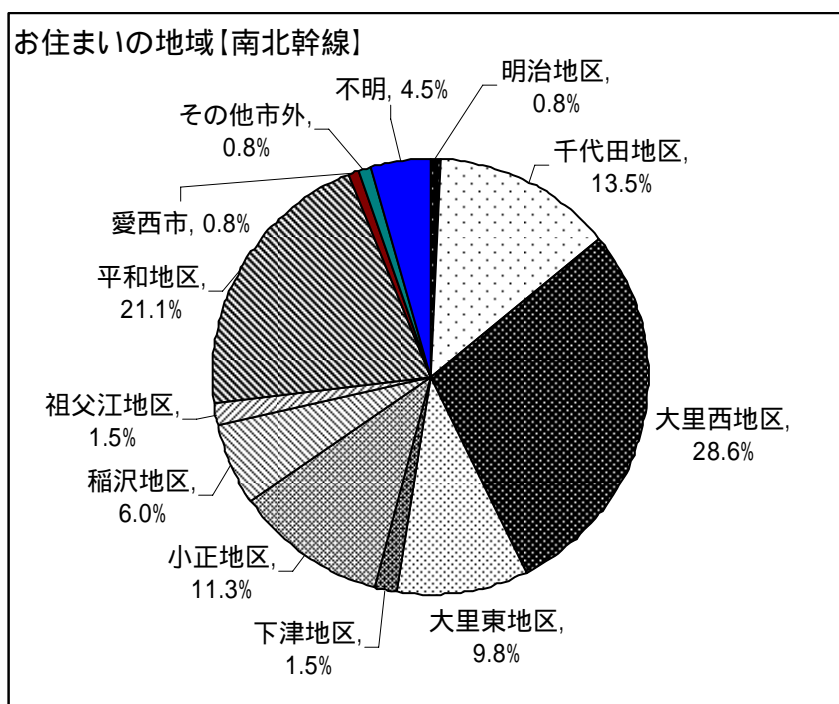
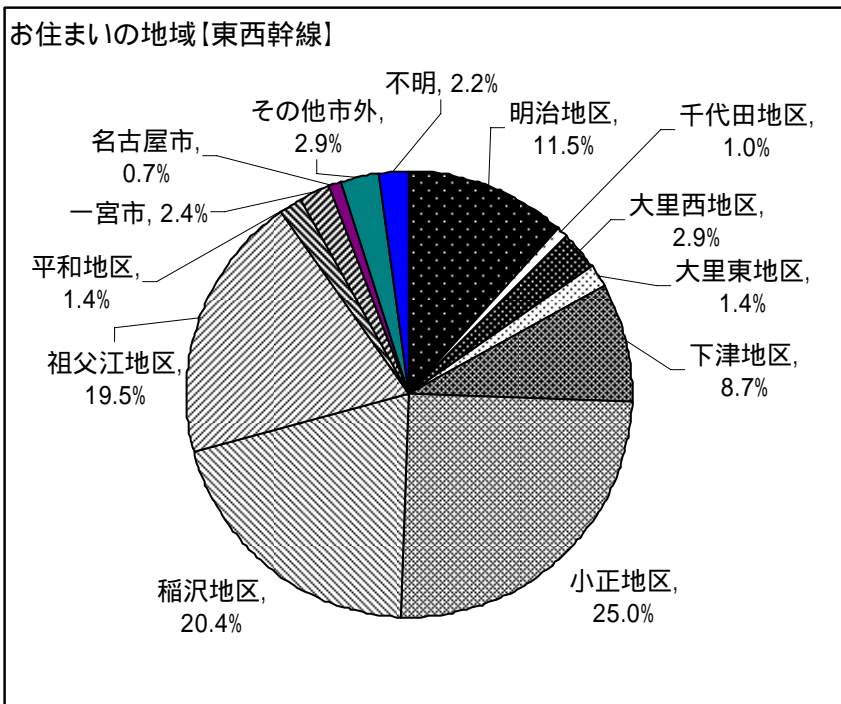
東西幹線は、30歳代から80歳以上まで、幅広い年代の方が利用されています。
南北幹線は、60歳代42.1%、70歳代24.1%、80歳以上9.8%と高齢者の方の利用が多くなっています。



お住まいの地域

東西幹線（停留所 全 27 か所）は、小正地区 25.0%、稲沢地区 20.4%、祖父江地区 19.5%、明治地区 11.5%の順で、停留所が多くある地区（小正地区 5 か所、稲沢地区 4 箇所、祖父江地区 8 か所、明治地区 8 か所）の利用者が多くなっています。

南北幹線（停留所 全 31 か所）も、大里西地区 28.6%、平和地区 21.1%、千代田地区 13.5%、小正地区 11.3%の順で、停留所が多くある地区（大里西地区 4 か所、平和地区 13 か所、千代田地区 5 か所、大里東地区 3 か所）の利用者が多くなっています。



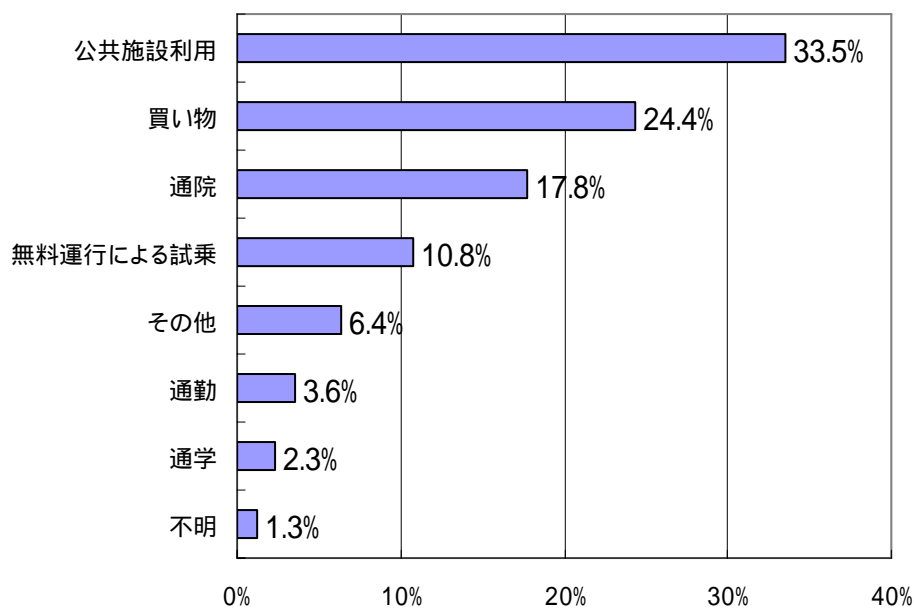
イ 設問

問1 ご利用の目的は？一つに をつけてください。

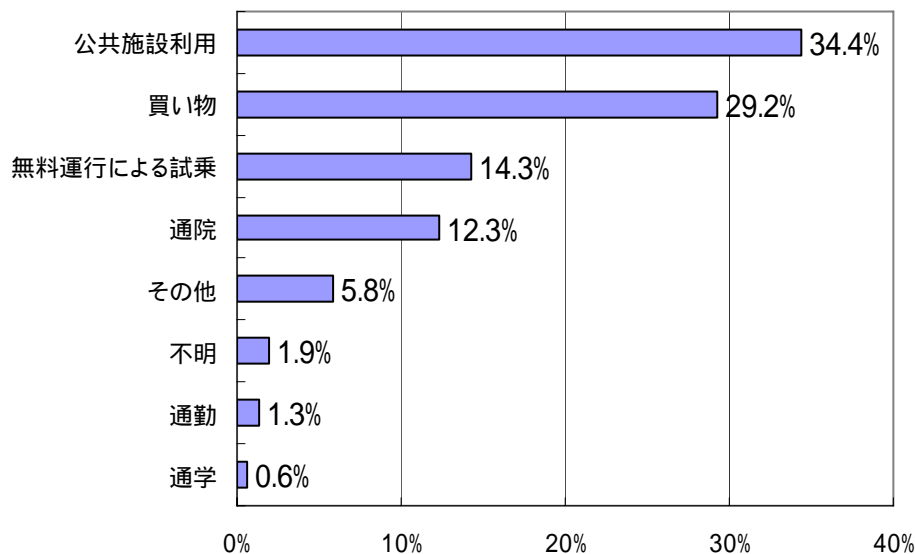
東西幹線、南北幹線とも「公共施設」、「買い物」、「通院」を目的とした利用者が多くなっており、利用者の年代（東西幹線 60歳代から80歳以上の割合58.4%、南北幹線 60歳代から80歳以上の割合76.0%）と併せて、コミュニティバスの運行目的である「高齢者・交通弱者の社会参加支援」、「公共施設などへの交通手段」に合致した結果が表れています。

両幹線とも「無料運行による試行」が10%を超え、無料運行実施によるコミュニティバス運行開始のPR効果が表れています。

利用目的【東西幹線】



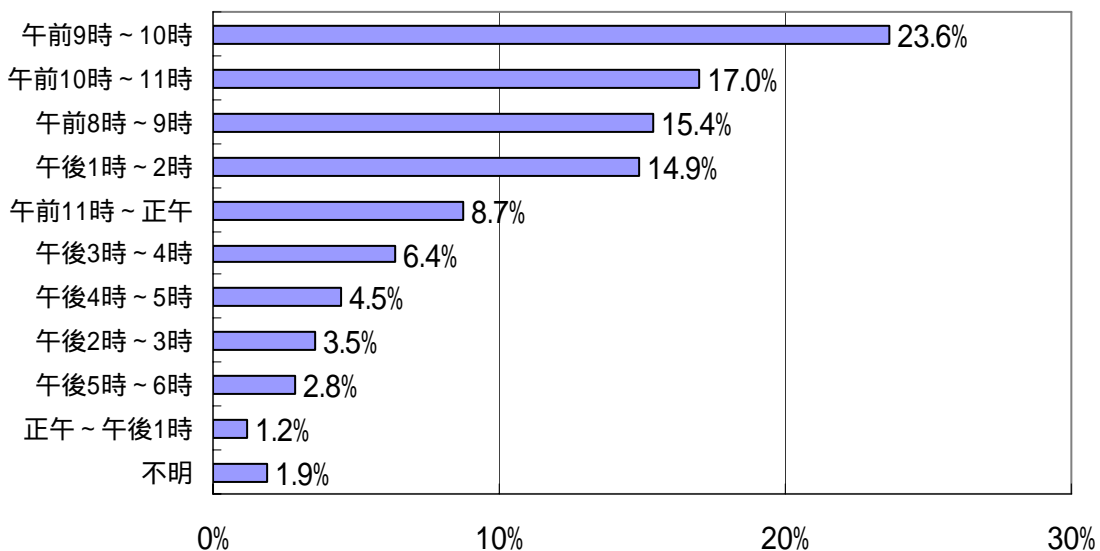
利用目的【南北幹線】



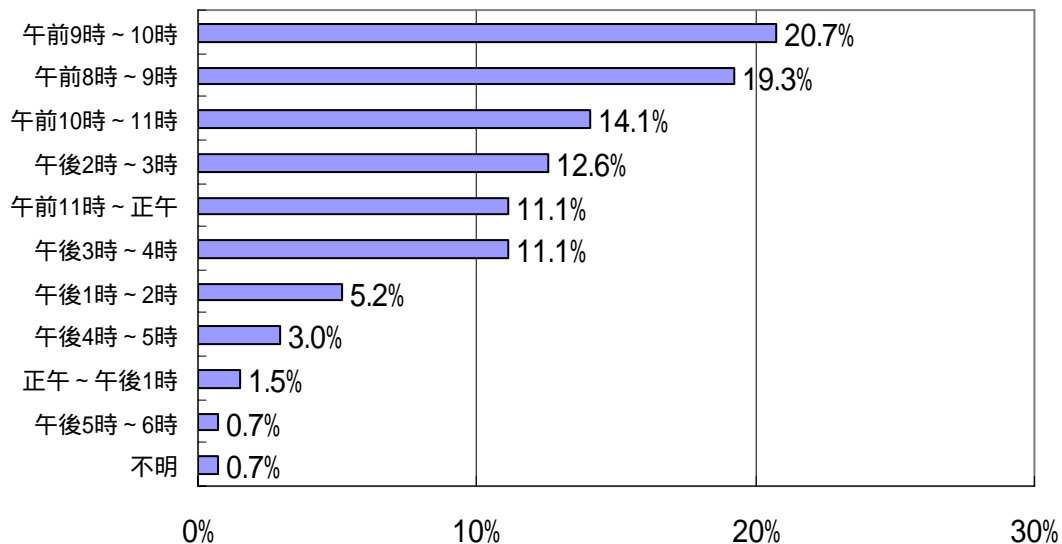
問2 ご利用された時間帯は？一つに をつけてください。

東西幹線、南北幹線とも「午前9時～10時」の時間帯の利用が一番多くなっています。
また、両幹線とも「午前8時～9時」、「午前9時～10時」、「午前10時～11時」の時間帯の割合を合計すると、東西幹線 56%、南北幹線 54.1%と半数以上を占めており、公共施設、病院、量販店の開館、開店等の時間に合わせた利用が多くなっています。

利用時間【東西幹線】

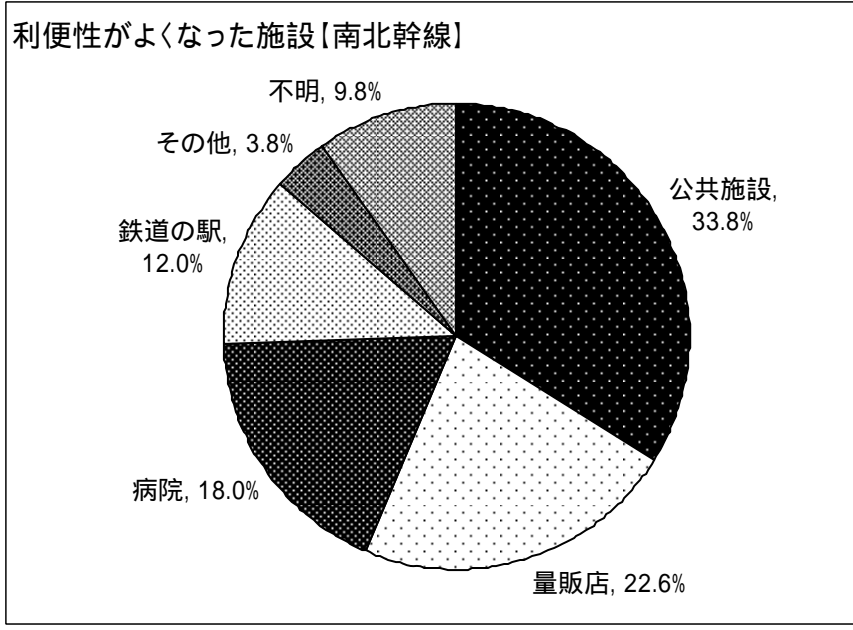
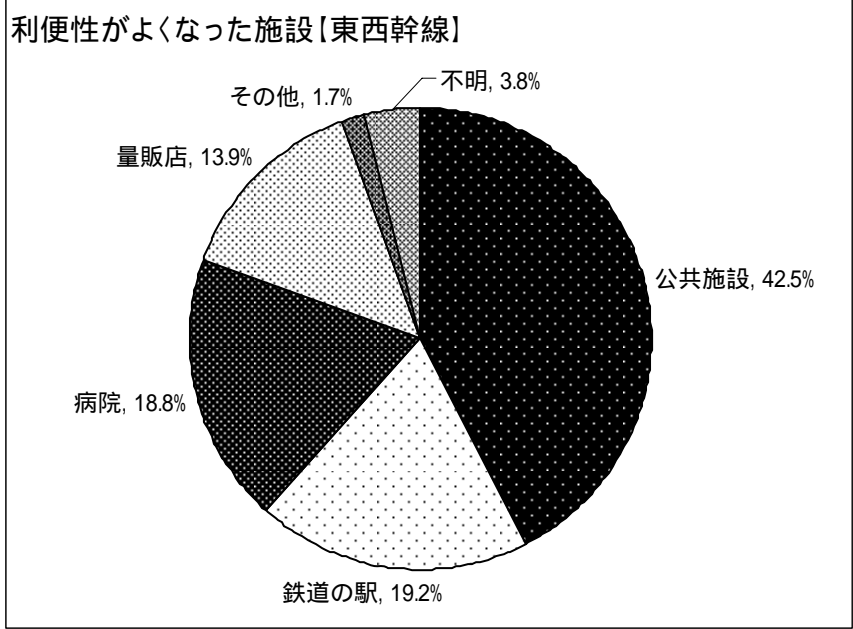


利用時間【南北幹線】



問3 コミュニティバス運行で利便性がよくなった施設は？一つに をつけてください。

- 東西幹線は、公共施設 42.5%、鉄道の駅 19.2%、病院 18.8%、量販店 13.9%の順で回答が多くなっており、停留所を設置した、ふれあいの郷、祖父江の森、市民会館、中央図書館等 8 か所、森上駅、国府宮駅、稲沢駅、また、尾西病院、市民病院への交通手段として、今後の利用が見込まれます。
- 南北幹線は、公共施設 33.8%、量販店 22.6%、病院 18.0%、鉄道の駅 12.0%の順で回答が多くなっており、平和支所・らくらくプラザ、市民会館・中央図書館など公共施設に 5 か所、奥田駅、大里駅、国府宮駅、また、北津島病院、市民病院への交通手段として、今後の利用が見込まれます。



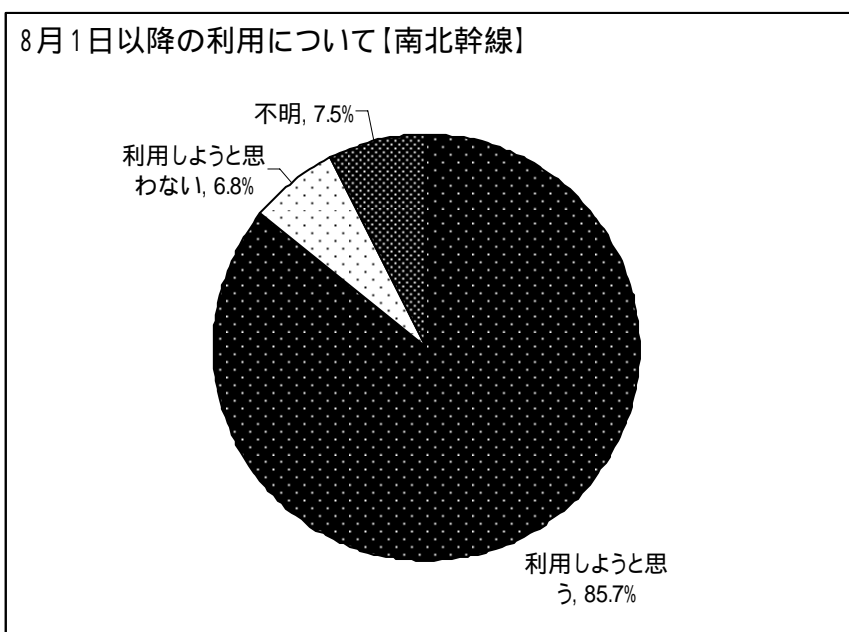
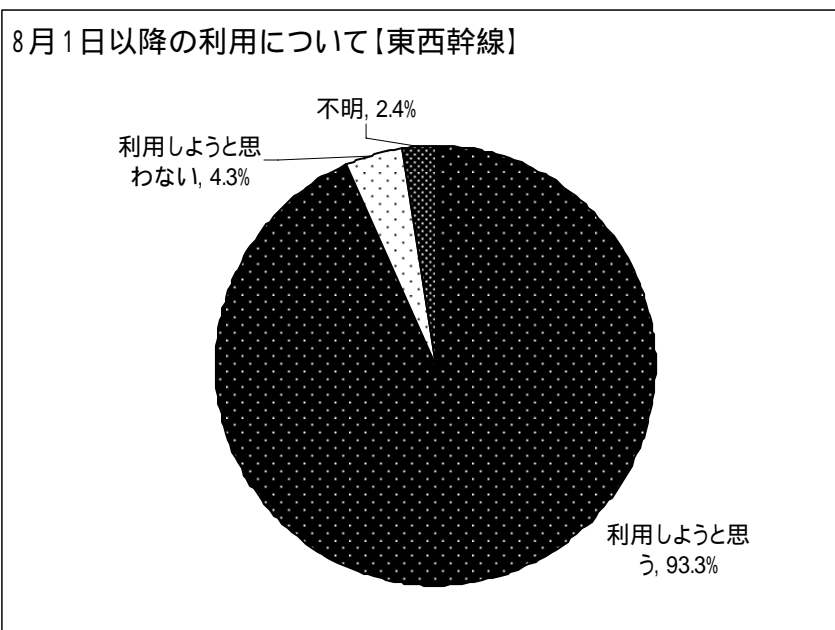
問4 8月1日以降（無料運行期間終了）もコミュニティバスをご利用いただけますか？

○ 東西幹線は93.3%、南北幹線は85.7%の方が、8月1日以降（無料運行期間終了後）もコミュニティバスをご利用いただけると回答されています。

【参考】

東西幹線の利用者数... 7月 5,965人、8月 3,674人、9月 3,100人、10月 3,020人

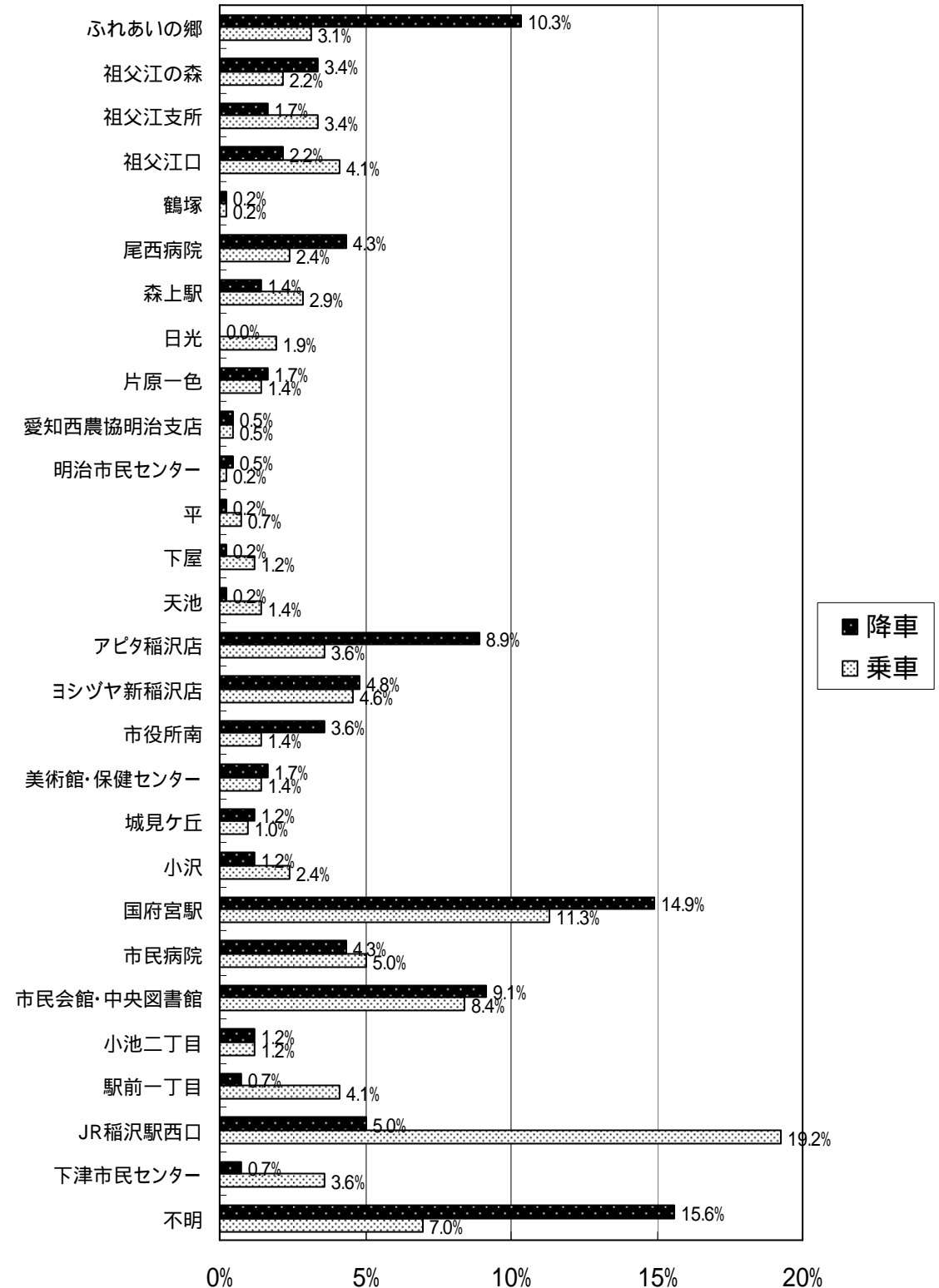
南北幹線の利用者数... 7月 1,420人、8月 720人、9月 583人、10月 554人



問5 乗り降りするバス停留所は？

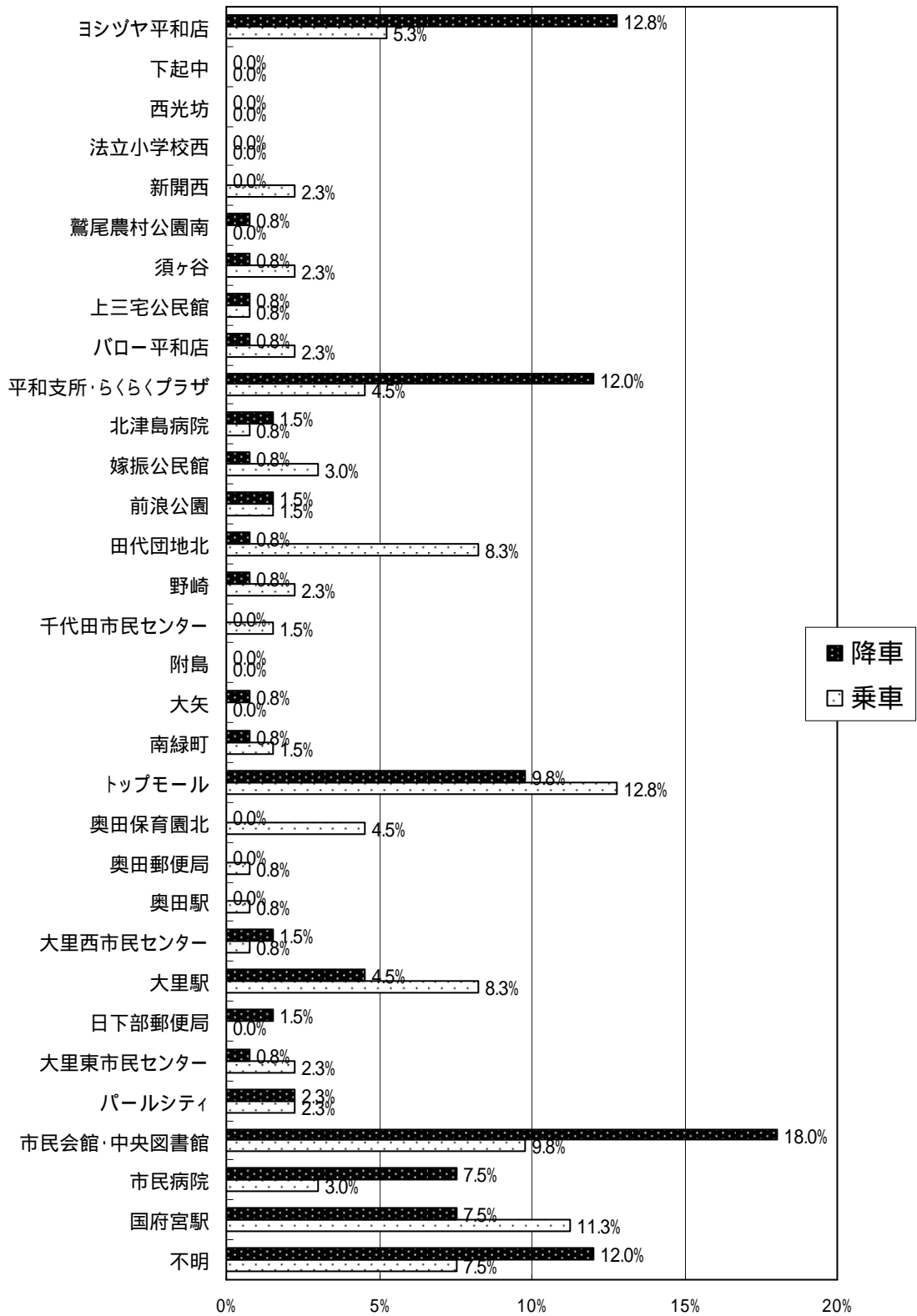
○ 東西幹線で降車する停留所は、国府宮駅 14.9%、ふれあいの郷 10.3%、市民会館・中央図書館 9.1%、アピタ稲沢店 8.9%の順番に多く、乗車する停留所は、JR稲沢駅西口 19.2%、国府宮駅 11.3%、市民会館・中央図書館 8.4%の順に多くなっています。

利用するバス停【東西幹線】



○ 南北幹線で降車する停留所は、市民会館・中央図書館 18.0%、ヨシツヤ平和店 12.8%、平和支所・ららくらくプラザ 12.0%、トップモール 9.8%の順に多く、乗車する停留所は、トップモール 12.8%、国府宮駅 11.3%、田代団地北と大里駅 8.3%の順に多くなっています。

利用するバス停【南北幹線】



利用者の意見・要望（アンケート調査「自由記入」欄より集約）

種 別	意 見 ・ 要 望 等
運行に関すること	休日も運行してほしい。
	バスが遅延しているため、時刻表の変更が必要である。
	運行時間を延長してほしい。
	両幹線の乗り継ぎがよくない。
	運行便数を増加してほしい。
	路線の延長、変更を検討してほしい。
	乗務員の対応が親切である。
	車内放送ができないか。
車両・停留所標識等に関する こと	バスの行先を表示できないか。
	停留所にベンチを設置してほしい。
	停留所標識の時刻がわかりにくい。
	停留所標識の設置場所を変更してほしい。
利用料金に関すること	高齢者や障害者への割引券を発行してほしい。
	往復利用券や回数券を発行してはどうか。
	利用料金が低い。
	利用料金が安く、ありがたい。

